

1. キーボードの壁

初めて電源を入れると画面には「マウスやキーボードの使いかた」というタイトルが表示されます。マウスは比較的簡単にマスターできると思います。しかし、キーボードの操作は画面の指示に従ってキーを打てばいいのですが、熟年先生はアルファベットの位置を探すのに苦労します。「何でABCの順に並んでないんだ」「キーボードにはひらがながあるのにこれもばらばらで順番に並んでないな」「だいたいこれがいやだったからパソコンをやりたくなかったんだ」。第1の壁です。しかし、ゆっくり時間をかけてやれば何とか越えられるはず。次に出てくる「使用者の登録」をするためにはどうしても必要なことなのです。

2. HELPのHELP?

キーボードの使い方が終わると自動的に「使用者の登録」の画面になります(図1)。

マウスでクリックしながら指示に従って進んでいけばいいのですが、出てくる言葉の意味がよくわかりません。出てくる用語がわかりにくいのが第2の壁です。「プロバイダー」はわかるにしても「オンラインサインアップ」これはなんだ? 「Info Pepper?」カタカナや横文字が多いこと。人に聞いたり本で調べたりするのも面倒です。

さらにわからないとき開けるHELPの画面(図2)に



図2 ヘルプを探せば大体のことはわかるのだが

もわからないから開いたにもかかわらず、なじみのない難しい言葉が出てきます。「ツアー、チュートリアル、アカウントの共有、システムの復元ツアー???'」本当に初めての人にわかるように書いてあるのか疑問に思います。「HELPのHELP」が必要なくらいですね。

新しい技術や文化には新しい言葉がつきもの、われわれ歯科医師の世界にもどんどん新しい言葉が入ってきています。「カリオロジー、プロベシヨナリーデンチャー、ナソヘキサグラフ……」

また、われわれが患者さんへの説明に専門用語や難しい表現をなげなく使ってしまふことを筆者もときどき反省しています。パソコンの世界もずいぶん親切にわかりやすくなってきていますが、まだ用いられる用語の壁はあるようです。

3. 電話回線の壁

さて、ここで電話回線が繋がっていないことが問題になってきます。登録の画面で住所、氏名や電話番号を入れたあとメーカーの登録センターに自動的に電話をかけようとします。当然電話回線が繋がっていないのでどうすることもできません。これが第3の壁でしょう。最近のパソコンは普通の説明書の他にとくに簡単接続のマニュアルやビデオが入っているので接続は簡単なはずですが、インターネットはパソコンを電話回線で繋ぐのが一般的ですが、本体の後ろにあるモジュージャックという電話線に繋ぐコンセントのようなものが、合わないことがあるのです。家庭用の電話では親子電話であったりホームテレホンであったり、モジュージャックが同じ形でも中の導線の数が違うのです。こうなると自分ではどうすることもできません。せっかくパソコンを買って立ち上げまでできたの

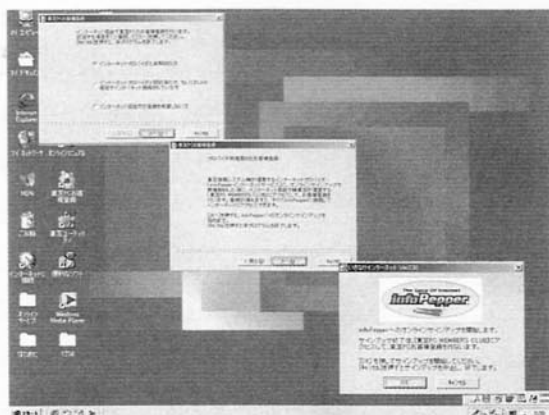


図1 使用者の登録画面(合成)